

第三者に住民票等を交付した場合に交付の事実を通知します

本人通知制度は、「住民票の写し」または「戸籍謄抄本などの証明書」を本人の代理人や第三者に交付した場合、事前に登録した方に対して、証明書を交付した事実を郵送で通知するものです。通知を希望される方は事前に登録をしてください。

登録の有効期間は登録日から3年間で、期間終了後も引き続き制度を利用される方は、更新手続きが必要です。

■登録できる方

- ①加西市の住民基本台帳に記載されている方
- ②加西市の戸籍に記載されている方
- ※転出や転籍等で除かれた人を含む。

■登録方法

本人が申請する場合／本人確認書類（※）を持参のうえ、市民課窓口で申請してください。

疾病等により代理人が申請をする場合／委任状と代理人の本人確認書類（※）を持参のうえ市民課窓口で申請してください。

遠方等による郵送申請をする場合／本人通知制度登録申請書と本人確認書類（※）の写しを添付して、市民課まで郵送してください。

※運転免許証、住基カード、パスポート、健康保険証等

年金記録などが確認できる「ねんきんネット」を利用ください

「ねんきんネット」とは、本人がインターネットを通じて、日本年金機構のホームページで年金記録・納付状況などを確認することができるサービスです。

ご自宅でインターネットが利用できない方は、市民課窓口で年金記録の確認ができますので、希望される方は、右の書類を持参してください。

■問合先／市民課 ☎④8722

■必要なもの

- ・本人確認書類／運転免許証、住基カード、パスポートなどの顔写真付のもの。写真付でない場合は2点以上の証明書（健康保険証、年金手帳、住民票など）が必要。
- ・基礎年金番号が確認できる書類／年金手帳・証書など
- ・委任状／代理人が申請する場合
- ・印鑑

【問合先】 市民課(市民年金係) ☎④8720 FAX③8045 shimin@city.kasai.lg.jp

夏休みに予防接種を受けましょう

次の予防接種を受けていない方は夏休みのうちに接種し、感染症から体を守りましょう。接種費用は無料です。

■予防接種対象者

| 予防接種名 | 対象者（接種年齢） |
|-----------------------|-----------------------------------|
| 麻しん・風しん混合（MR）2期 | 平成19年4月2日～平成20年4月1日生まれ（小学校入学前1年間） |
| 二種混合（DT）※ジフテリア、破傷風を予防 | 11歳～13歳未満（小学6年生） |

■接種方法

加西市指定医療機関へ電話予約してください。指定医療機関は、広報かさい4月号8ページまたは市ホームページでご確認ください。

■接種に必要な物

母子健康手帳、体温計、健康保険証（本人確認のため）、予診票（医療機関及び健康課にあります）



広報かさい7月号「風しん予防接種の費用を助成します」の訂正

広報かさい7月号6ページの「風しん予防接種の費用を助成します」の記事に誤りがありました。訂正してお詫びします。

| (誤) | (正) |
|---|---|
| ※妊娠の可能性のある方、または妊娠中の方は接種できません。また、女性が接種する場合は、ワクチン接種前1カ月間と、 接種後1カ月間 は避妊が必要です。 | ※妊娠の可能性のある方、または妊娠中の方は接種できません。また、女性が接種する場合は、ワクチン接種前1カ月間と、 接種後2カ月間 は避妊が必要です。 |

【問合先】 健康課(健康係) ☎④8723 FAX④7521 kenko@city.kasai.lg.jp

加西病院のコーナー

加西病院ホームページ <http://www.hospital.kasai.hyogo.jp>

病院薬剤師に求められているもの

■院外処方

加西病院は、平成24年10月から院外処方せんに移行しました。「かかりつけ薬局を持つ」という国の方針に沿ったもので、これまでの院内薬局と違い、院外の調剤薬局へ行きお薬をもらうことになりました。

わざわざ調剤薬局まで足を運ぶ必要があるため、不便だと思われるかもしれませんが、院外処方化することで、複数の病院から処方された薬を一つの薬局で管理することにより、薬の飲み合わせ（相互作用）や同じ効果をもつ薬（同種同効薬の重複）などをチェックすることができるという利点があります。

■これまで院内で調剤をしていた薬剤師の現状は？

院外処方化を始めると同時に、各病棟に一人ずつ配置することになり、病棟専任薬剤師が誕生しました。これまでの薬剤師は、入院中に処方されたお薬の効能効果の説明や副作用の早期発見に努めていました。しかし、それだけではなく、入院から退院まで、お薬に関して、病棟専任薬剤師が担当することになります。

■主な業務

- ①持参薬の鑑別（糖尿病薬、抗血小板薬、抗凝固薬の情報は特に注意が必要）。
- ②内服や注射の投与状況の把握。点滴のチェック。
- ③副作用のチェック。薬物の血中濃度を測定し、最適な投与量を提案。

- ④他職種との連携。薬物療法の提案。
- ⑤抗がん剤の無菌調製。
- ⑥医師や看護師からの薬に関する質問の対応。
- ⑦厚生労働省から提供された情報を医師へ伝達。
- ⑧重篤な副作用が発生した時の救済申請の支援。
- ⑨病棟に置いてある薬の適正な保管・管理。

業務の中には、これまで医師や看護師が行っていたものも少なくありません。薬のプロである薬剤師が担うことで、医師や看護師の業務軽減に繋げることができ、結果的に入院中の患者さんに、充実した医療を提供することができる大きなメリットとなります。

■これから

現在の医療は、チーム医療です。医師、看護師、薬剤師、技師、栄養士、事務などすべての職種が意見を交わし、それぞれの専門性を発揮して取り組んでいます。その中で、薬剤師は、有効かつ安全な薬物治療に貢献するために、より一層活躍する必要があります。薬剤部は、抗がん剤・感染制御・糖尿病・栄養サポートなど、個人の資質向上に力を入れて取り組んでいます。



クリーンルームでの抗がん剤無菌調製

(薬剤部科長 柿木博士)

生活習慣病を防ぐために「特定健診」を受けましょう

特定健診は、腹囲測定などを行うことで、生活習慣病の危険性を知ることができます。年に一度は受診し、健康状態を確認しましょう。今年度に受診された方は、再度申し込みできません。

対象は40～74歳の国保加入者ですが、20～39歳以下の方や後期高齢の方も受診をお勧めしています。

■申込可能な町ぐるみ健診

日時／10月23日(水)、24日(木)、25日(金)
11月3日(日)、4日(月) 8:00～12:00

場所／JA兵庫みらい本店(農協会館)

申込方法／広報かさい3月号と一っしょに配布している申込書を市健康課へ。

■実施医療機関

| | |
|-------------------|-----------------|
| あさじ医院 ☎④0225 | 田尻内科循環器科 ☎③7931 |
| 安積医院 ☎④0361 | つつみ神経内科 ☎⑤2050 |
| 荒木医院 ☎③9711 | 徳岡内科 ☎②0178 |
| 大杉内科医院 ☎⑦0023 | 西村医院 ☎⑨0001 |
| 小野寺医院 ☎⑧3737 | 堀井内科医院 ☎⑨0150 |
| おりた外科胃腸科医院 ☎②6000 | みのりクリニック ☎⑨8470 |
| 市立加西病院 ☎②2200 | 横田内科医院 ☎②5715 |
| 佐竹医院 ☎②4057 | 米田病院 ☎⑧3591 |

申込方法／医療機関へ直接電話予約してください。

【問合先】 市民課(国民健康保険係) ☎④8721 FAX④1792 shimin@city.kasai.lg.jp